

八王子市保健所年報

統計編

(1) 人口の推移

表1

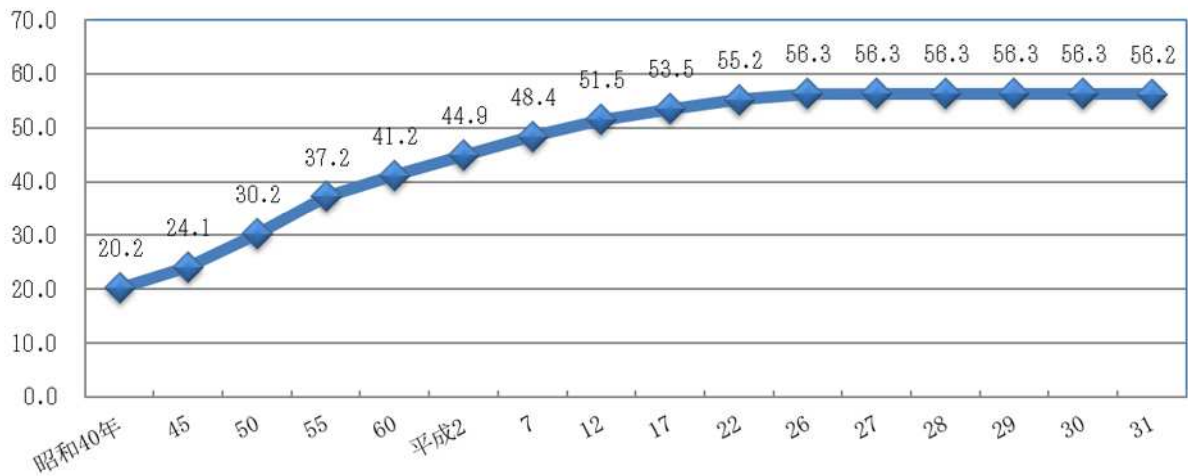
各年1月1日住民基本台帳人口

年次	八王子市	東京都	全国
平成26年	563,482	13,202,037	128,438,013
27年	562,572	13,297,585	128,226,483
28年	562,795	13,415,349	128,066,211
29年	563,228	13,530,053	127,907,086
30年	563,178	13,637,346	127,707,259
31年	562,460	13,740,732	127,443,563

* 全国及び東京都人口は、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(総務省総務局)による。

図2-1

人口数(万人)



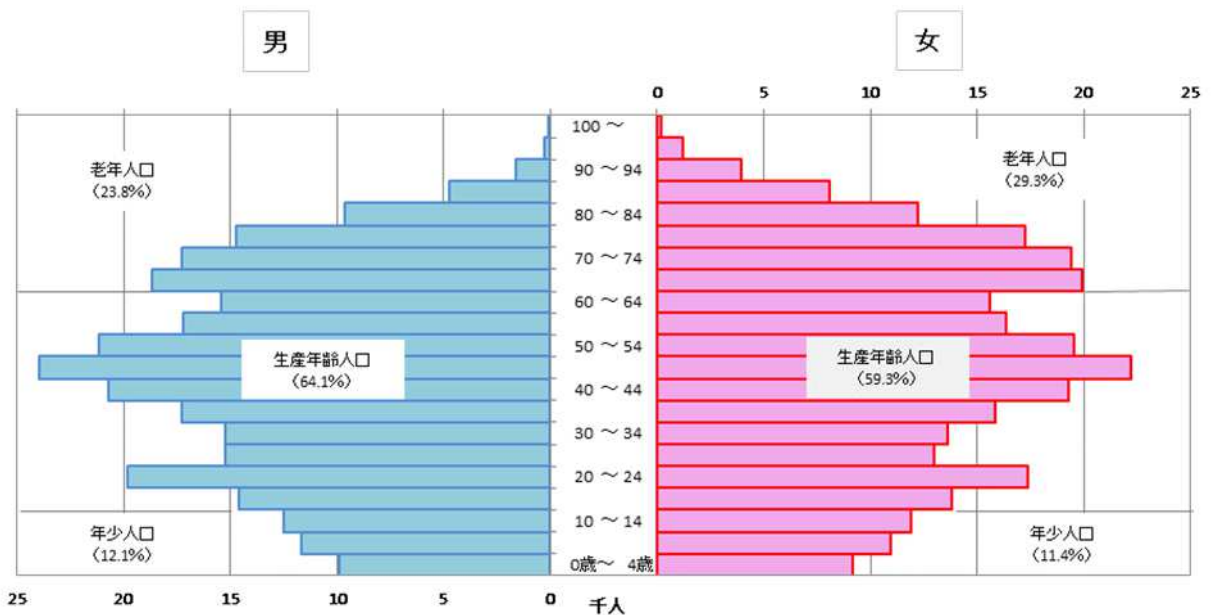
(2) 性・年齢階級別人口

表2

平成31年1月1日住民基本台帳人口

年 齢	管		内	
	男	女	総 数	構成比
0歳～4歳	9,873	9,153	19,026	3.4
5～9	11,685	10,947	22,632	4.0
10～14	12,480	11,904	24,384	4.3
15～19	14,610	13,784	28,394	5.0
20～24	19,801	17,371	37,172	6.6
25～29	15,216	12,985	28,201	5.0
30～34	15,216	13,604	28,820	5.1
35～39	17,277	15,883	33,160	5.9
40～44	20,688	19,285	39,973	7.1
45～49	23,949	22,215	46,164	8.2
50～54	21,124	19,553	40,677	7.2
55～59	17,215	16,380	33,595	6.0
60～64	15,447	15,585	31,032	5.5
65～69	18,663	19,924	38,587	6.9
70～74	17,296	19,441	36,737	6.5
75～79	14,702	17,259	31,961	5.7
80～84	9,638	12,193	21,831	3.9
85～89	4,736	8,105	12,841	2.3
90～94	1,594	3,977	5,571	1.0
95～99	270	1,195	1,465	0.3
100～	26	211	237	0.0
総 数	281,506	280,954	562,460	100.0
年少人口(0～14)	34,038	32,004	66,042	11.7
生産年齢人口(15～64)	180,543	166,645	347,188	61.7
老年人口(65歳以上)	66,925	82,305	149,230	26.5

図2-2 人口ピラミッド



(3) 人口動態の概況

<比率の説明>

$$1. \text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$2. \text{合計特殊出生率} = \left[\frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right] \text{15歳から49歳までの合計}$$

合計特殊出生率の算出は本市の算出によるもので、東京都福祉保健局が発行する人口動態統計の数値と異なる場合がある。

$$3. \text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$4. \text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡(生後1年未満の死亡)数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$5. \text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡(生後28日未満の死亡)数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$6. \text{死産率} = \frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$7. \text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡(妊娠22週以後の死産+生後1週未満の死亡)数}}{\text{年間出生数+妊娠22週以降の死産数}} \times 1,000$$

$$8. \text{婚姻率(離婚率)} = \frac{\text{年間婚姻(離婚)数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$9. \text{自然増加率} = \frac{\text{年間出生数-年間死亡数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$10. \text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別年間死亡数}}{\text{その年の10月1日の人口}} \times 100,000$$

率算出基礎人口

平成30年10月1日現在

全 国	124,218,285	(下記参考 より)
東 京 都	13,340,000	(下記参考 より)
八王子市	577,254	(同 上)

<参考>

平成30年人口動態統計(確定数)の概況(厚生労働省)

平成30年人口動態統計年報(確定数)(東京都福祉保健局)

衛生統計資料(平成30年10月1日現在の年齢構成別推計人口)(東京都福祉保健局)

平成29年 65歳健康寿命(東京都保健所長会方式)結果 八王子市

表3 人口動態総覧

実数	出生		死亡			周産期死亡			死産			婚	離	自
	総	(再掲) 低 2500g 未満児	総	(再掲) 乳 児 死 亡	(再掲) 新 生 児 死 亡	総	妊 娠 満 2 週 以 後	生 後 1 週 未 満	総	自 然 死 産	人 工 死 産			
29年管内	3,377	285	5,303	8	2	5	4	1	67	22	45	2,172	941	1,926
30年管内	3,275	280	5,448	6	2	10	8	2	86	33	53	2,068	970	2,173
30年東京都	107,150	9,790	119,253	183	71	315	259	56	2,201	1,007	1,194	82,716	22,706	12,103
率	人口 千対	出生 百対	人口 千対	出生 千対	出生 千対	出 産 千対	出 産 千対	出 産 千対	出 産 千対	出 産 千対	出 産 千対	人口 千対	人口 千対	人口 千対
29年管内	5.8	8.4	9.2	2.4	0.6	1.5	1.2	0.3	19.5	6.4	13.1	3.8	1.63	3.3
30年管内	5.7	8.5	9.4	1.8	0.6	3.0	2.4	0.6	25.6	9.8	15.8	3.6	1.68	3.8
30年東京都	8.0	9.1	8.9	1.7	0.7	2.9	2.4	0.5	20.1	9.2	10.9	6.2	1.70	0.9

図3 出生率の年次推移

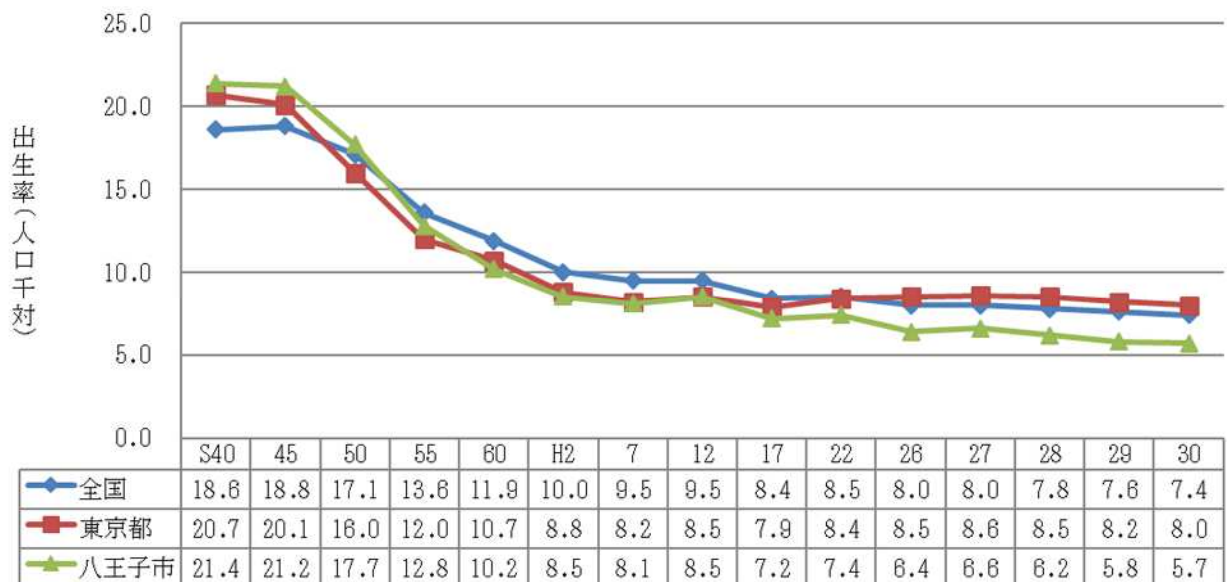
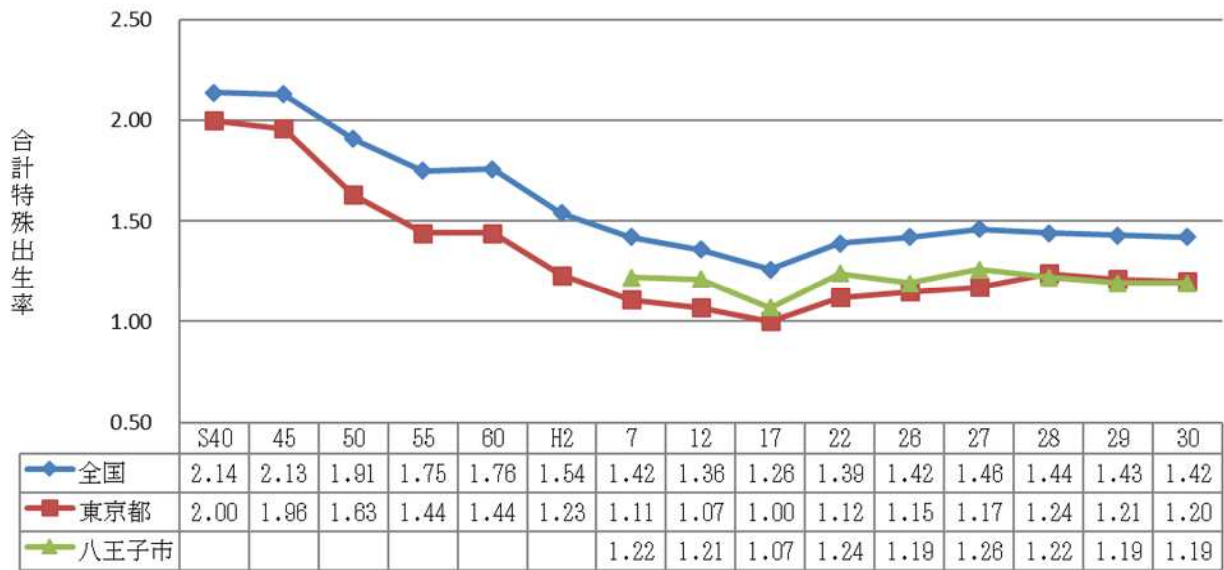


図4 合計特殊出生率の年次推移



* 東京都では、平成6年以前の市町村単位での合計特殊出生率の数値は公表していない。

図5 死亡率の年次推移

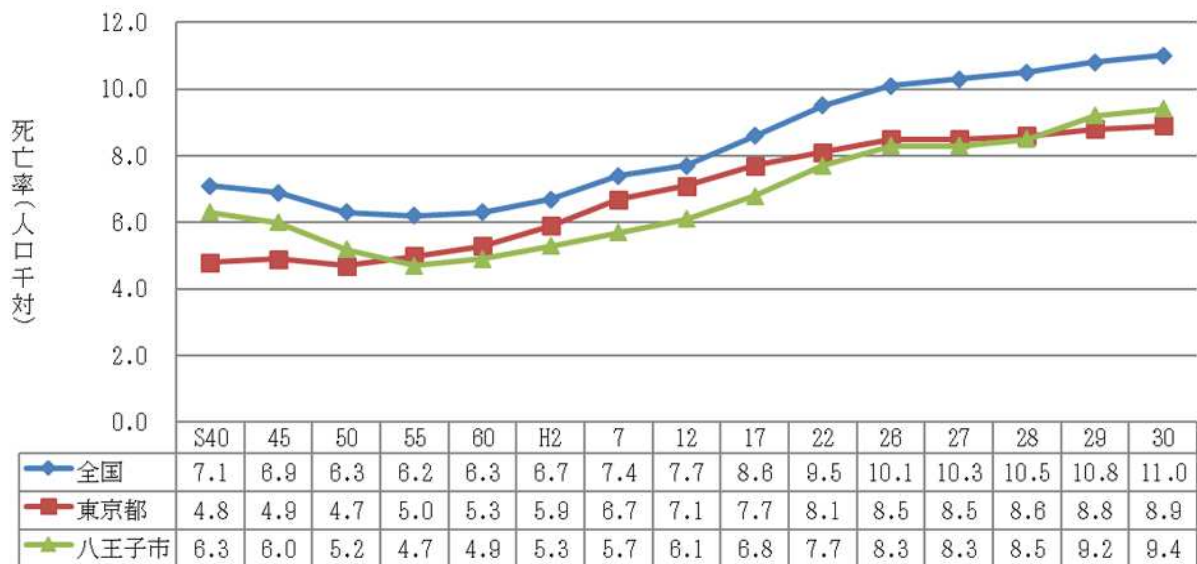


図6 乳児死亡率の年次推移

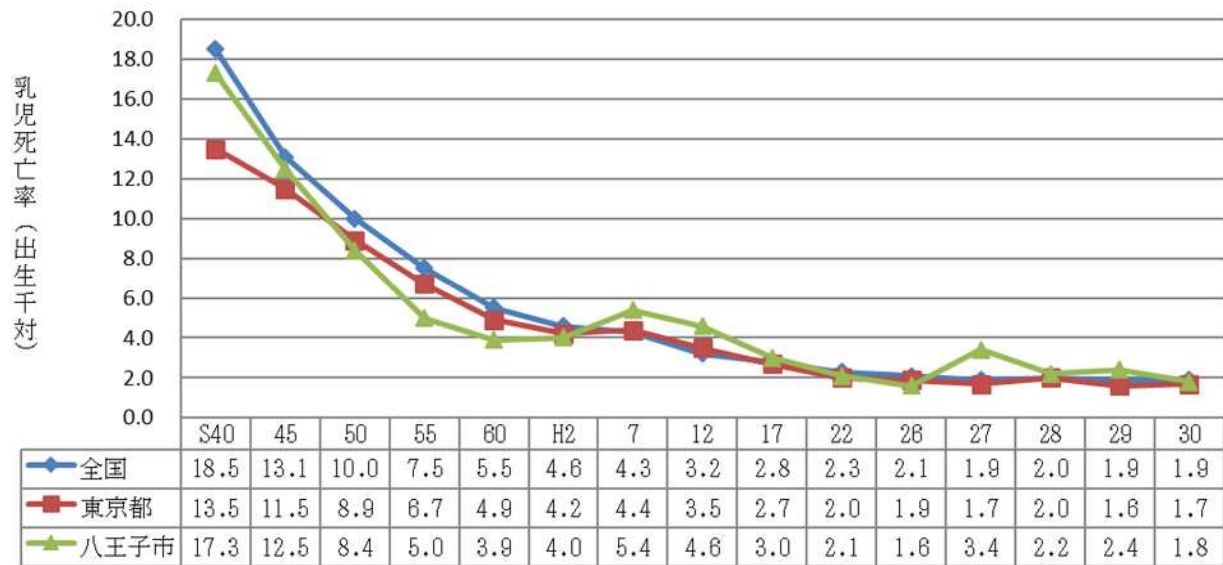


図7 新生児死亡率の年次推移

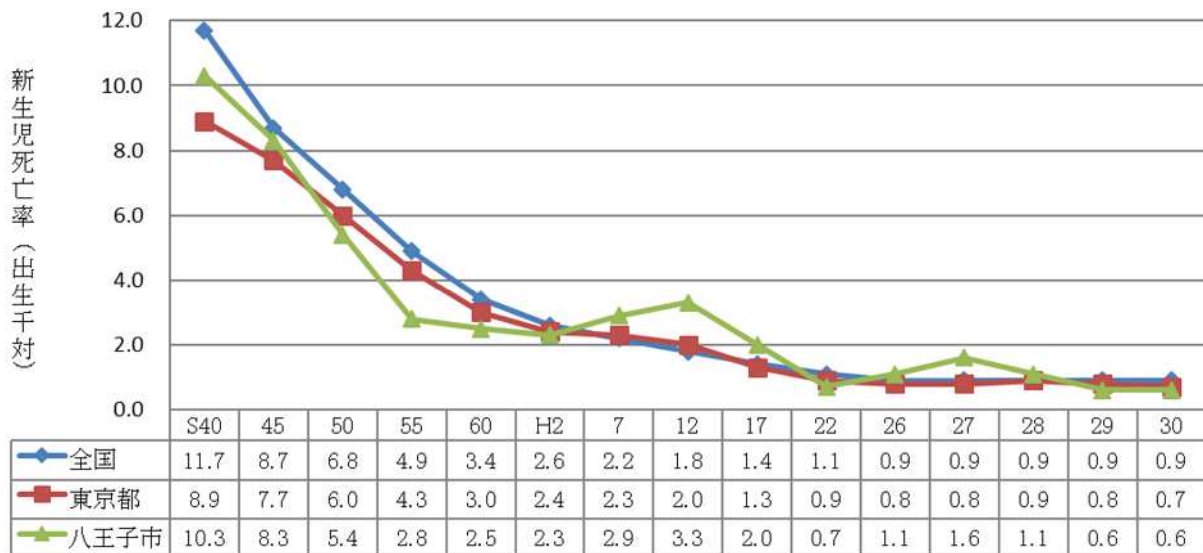


図8 周産期死亡率の年次推移

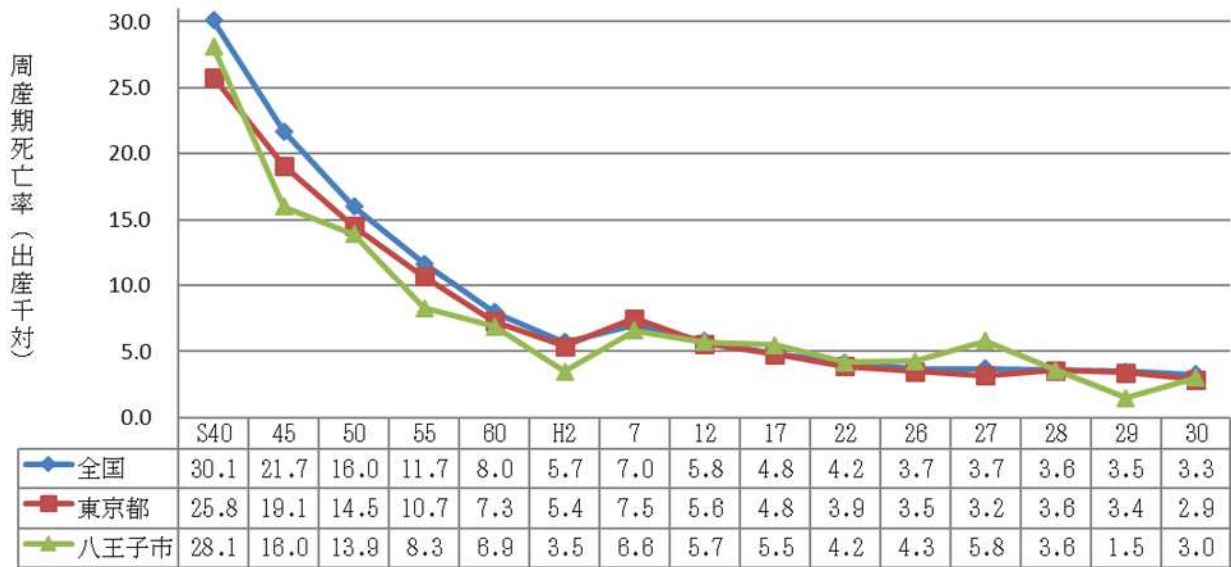


図9 死産率の年次推移

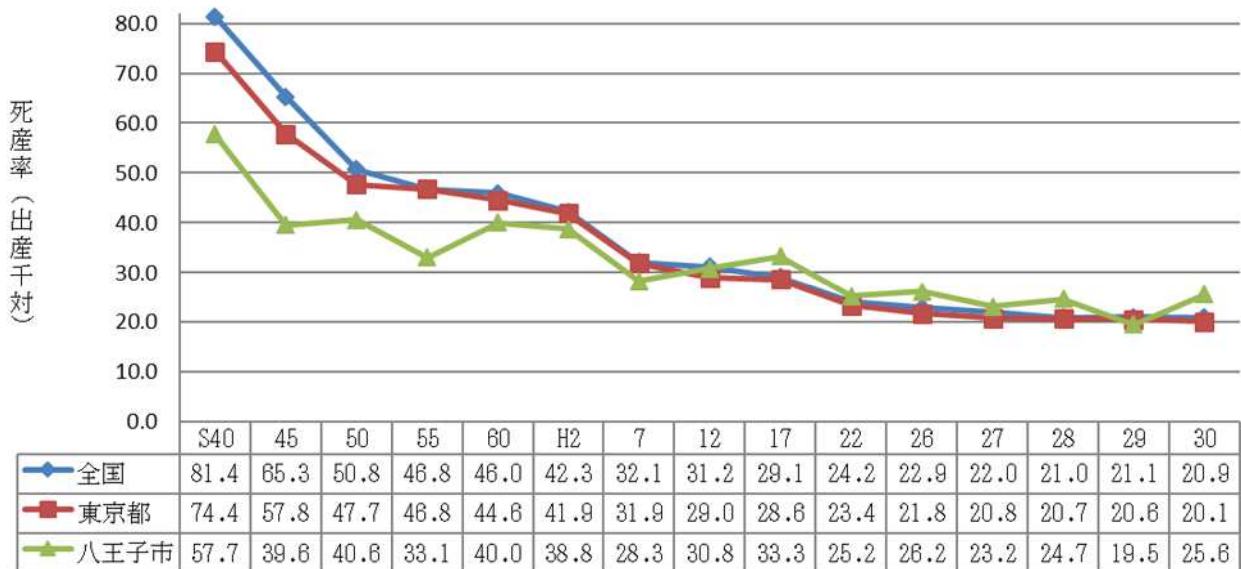


図10 婚姻率の年次推移

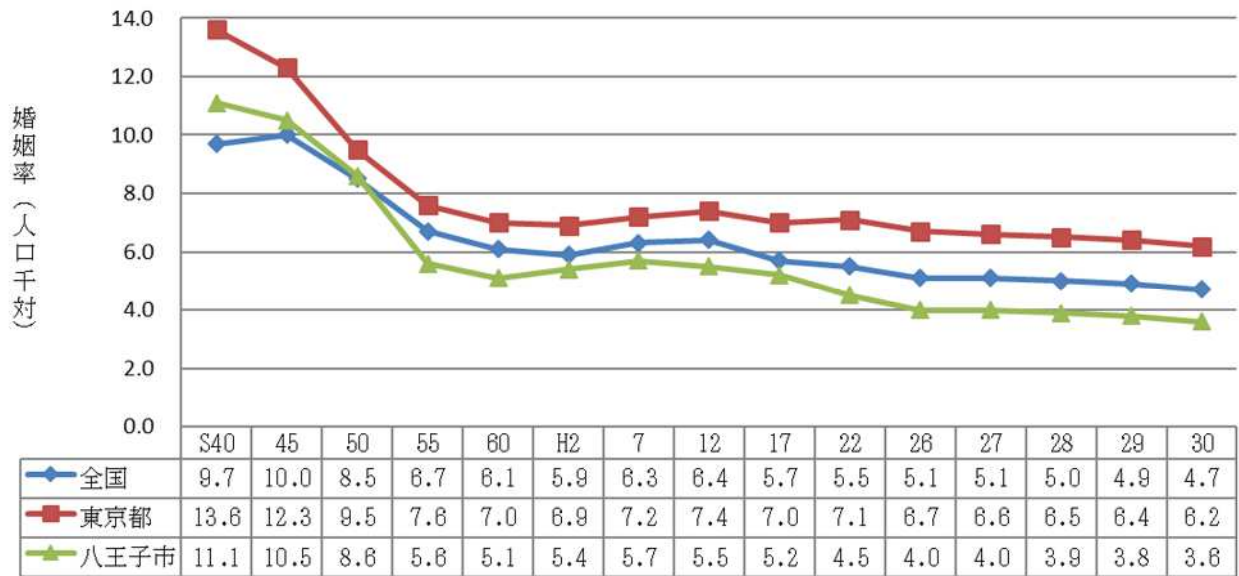


図2-11 離婚率の年次推移



表4 出生数、母の年齢階級・出産順位別

母の年齢	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	第6子以上	不詳
総数	3,275	1,423	1,304	415	102	20	11	-
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
15歳～19歳	38	33	5	-	-	-	-	-
20歳～24歳	242	167	66	7	2	-	-	-
25歳～29歳	789	458	269	53	7	2	-	-
30歳～34歳	1,126	434	507	141	32	8	4	-
35歳～39歳	855	264	364	167	47	8	5	-
40歳～44歳	215	64	90	44	13	2	2	-
45歳～49歳	10	3	3	3	1	-	-	-
50歳～	-	-	-	-	-	-	-	-
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-

図12 第1児の母の年齢年次推移



表5 妊娠期間別出生体重別出生数

妊娠週数	出生体重 (g)											
	総数	~999	1,000~1,499	1,500~1,999	2,000~2,499	2,500~2,999	3,000~3,499	3,500~3,999	4,000~4,499	4,500~4,999	5,000~	不詳
総数	3,275	7	12	42	219	1,263	1,398	307	25	1	-	1
男	1,711	3	9	16	109	573	781	197	21	1	-	1
女	1,564	4	3	26	110	690	617	110	4	-	-	-
満42週以上	3	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
満37~41週	3,088	-	1	9	152	1,206	1,389	305	25	1	-	-
満32~36週	157	-	4	28	66	54	5	-	-	-	-	-
満28~31週	21	4	7	5	1	2	2	-	-	-	-	-
満28週未満	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不詳	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1

表6 乳児・新生児死亡数、主要死因（乳児死因分類）別

生後日数	死因	分類番号	死因分類																														
			腸管感染症	敗血症	麻疹	ウイルス性肝炎	悪性新生物	その他新生物	栄養失調症及びその他の栄養欠乏症	代謝謝障害	髄膜炎	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	脳性麻痺	心疾患（高血圧性を除く）	脳血管疾患	インフルエンザ	肺炎	喘息	ヘルニア及び腸閉塞	肝不全	腎不全	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	出産外傷	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	周産期に特異的な感染症	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	先天奇形、変形及び染色体異常	乳幼児突然死候群	不慮の死	他	その他の全死因		
総数			6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
生後7日未満			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
7日~4週未満			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4週~1年未満			4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

表7 原因別死産数（基本分類）

死産の原因 児側病態	母側病態							
	総数	P 00 現在の妊娠とは無関係の場合もあり得る母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児	P 01 母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P 02 胎盤、臍帯及び卵膜の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P 03 その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P 04 胎盤又は母乳を介して有害な影響を受けた胎児及び新生児	P 97 母体保護法による人工妊娠中絶、母体の病態によらないもの	P 99 病態の記載のないもの
総数	86	31	8	1	-	-	29	17
自然死産	33	13	3	-	-	-	-	17
周産期に発生した病態	28	13	3	-	-	-	-	12
P05-P08 妊娠期間及び胎児発育に関する障害	2	1	-	-	-	-	-	1
P20-P29 周産期に特異的な呼吸器障害と心血管障害	-	-	-	-	-	-	-	-
P35-P39 周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-	-	-	-
P50-P61 胎児と新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-	-	-	-
P80-P83 胎児と新生児の外皮及び体温調節の病態	1	-	-	-	-	-	-	1
その他	25	12	3	-	-	-	-	10
先天奇形、変形及び染色体	5	-	-	-	-	-	-	5
Q00-Q07 神経系の先天奇形	1	-	-	-	-	-	-	1
Q20-Q28 循環器系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-
Q30-Q34 呼吸器系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-
Q65-Q79 筋骨格系の先天奇形及び変形	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	-	-	-	-	-	4
その他の死産	-	-	-	-	-	-	-	-
人工死産	53	18	5	1	-	-	29	-

図2-13 主要死因の年次推移

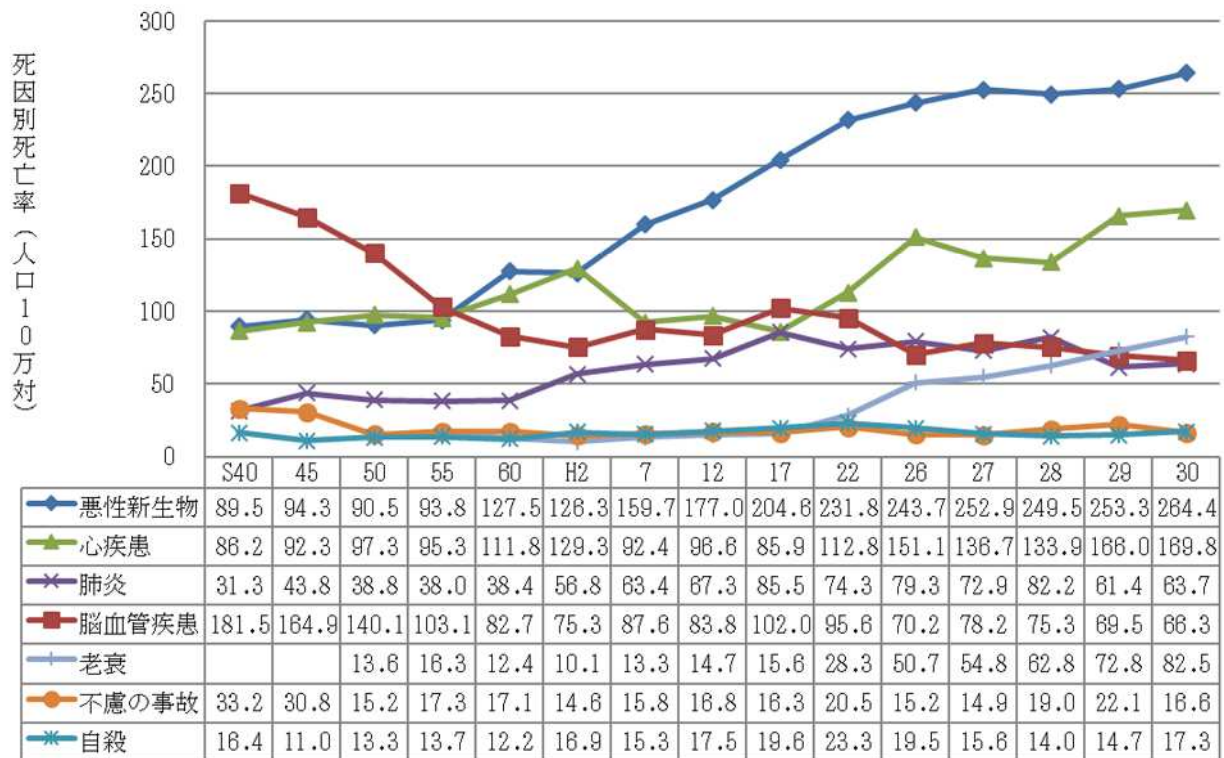


表 8 年次別死因順位・死因別死亡率（人口10万対）

年	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
平成12	悪性新生物 177.0	心疾患 96.6	脳血管疾患 83.8	肺炎 67.3	自殺 17.5	不慮の事故 16.8	老衰 14.7	肝疾患 12.9	腎不全 9.0	糖尿病 8.6
17	悪性新生物 204.6	脳血管疾患 102.0	心疾患 85.9	肺炎 85.5	自殺 19.6	不慮の事故 16.3	老衰 15.6	腎不全 14.2	肝疾患 12.2	慢性閉塞性肺疾患 9.0
22	悪性新生物 231.8	心疾患 112.8	脳血管疾患 95.6	肺炎 74.3	老衰 28.3	自殺 23.3	不慮の事故 20.5	腎不全 15.9	肝疾患 14.0	慢性閉塞性肺疾患 10.7
25	悪性新生物 238.2	心疾患 132.9	脳血管疾患 80.9	肺炎 78.9	老衰 40.8	自殺 19.5	腎不全 13.6	不慮の事故 12.1	肝疾患 9.8	慢性閉塞性肺疾患 9.1
26	悪性新生物 243.7	心疾患 151.1	肺炎 79.3	脳血管疾患 70.2	老衰 50.7	自殺 19.5	不慮の事故 15.2	腎不全 12.9	肝疾患 10.9	慢性閉塞性肺疾患 10.2
27	悪性新生物 252.9	心疾患 136.7	脳血管疾患 78.2	肺炎 72.9	老衰 54.8	自殺 15.6	不慮の事故 14.9	腎不全 14.7	肝疾患 10.4	慢性閉塞性肺疾患 10.1
28	悪性新生物 249.5	心疾患 133.9	肺炎 82.2	脳血管疾患 75.3	老衰 62.8	不慮の事故 19.0	腎不全 15.2	自殺 14.0	肝疾患 12.3	慢性閉塞性肺疾患 9.9
29	悪性新生物 253.3	心疾患 166.0	老衰 72.8	脳血管疾患 69.5	肺炎 61.4	不慮の事故 22.1	誤嚥性肺炎 16.9	腎不全 16.3	自殺 14.7	肝疾患 11.6
30	悪性新生物 264.4	心疾患 169.8	老衰 82.5	脳血管疾患 66.3	肺炎 63.7	自殺 17.3	腎不全 17.0	不慮の事故 16.6	誤嚥性肺炎 15.8	慢性閉塞性肺疾患 11.4
30都	悪性新生物 255.8	心疾患 136.5	老衰 71.0	脳血管疾患 65.4	肺炎 59.3	誤嚥性肺炎 22.4	不慮の事故 21.9	自殺 15.2	腎不全 14.9	大動脈瘤及び解離 14.8
30全国	悪性新生物 300.7	心疾患 167.6	老衰 88.2	脳血管疾患 87.1	肺炎 76.2	不慮の事故 33.2	誤嚥性肺炎 31.0	腎不全 21.0	血管性等の認知症 16.5	自殺 16.1

「誤嚥性肺炎」は平成29年より死因順位に用いる分類項目に追加しているため、平成28年以前の順位はつけていない。

図 14 死因別死亡率割合（人口10万対）

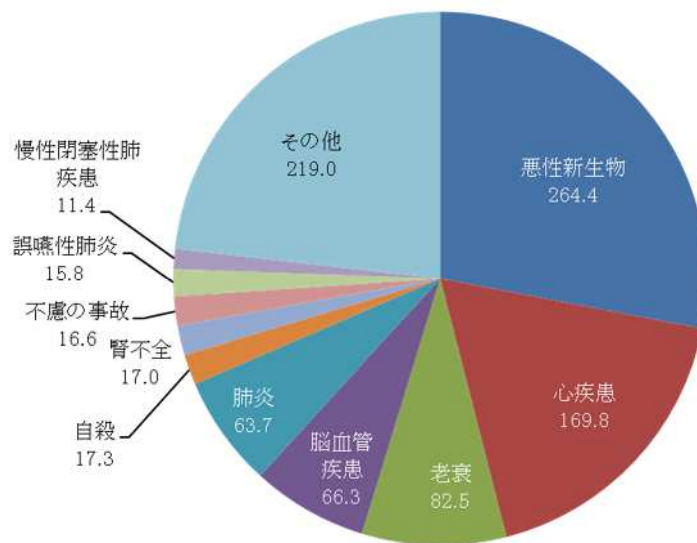


図 1 5 生活習慣病による四大死因（年代別）

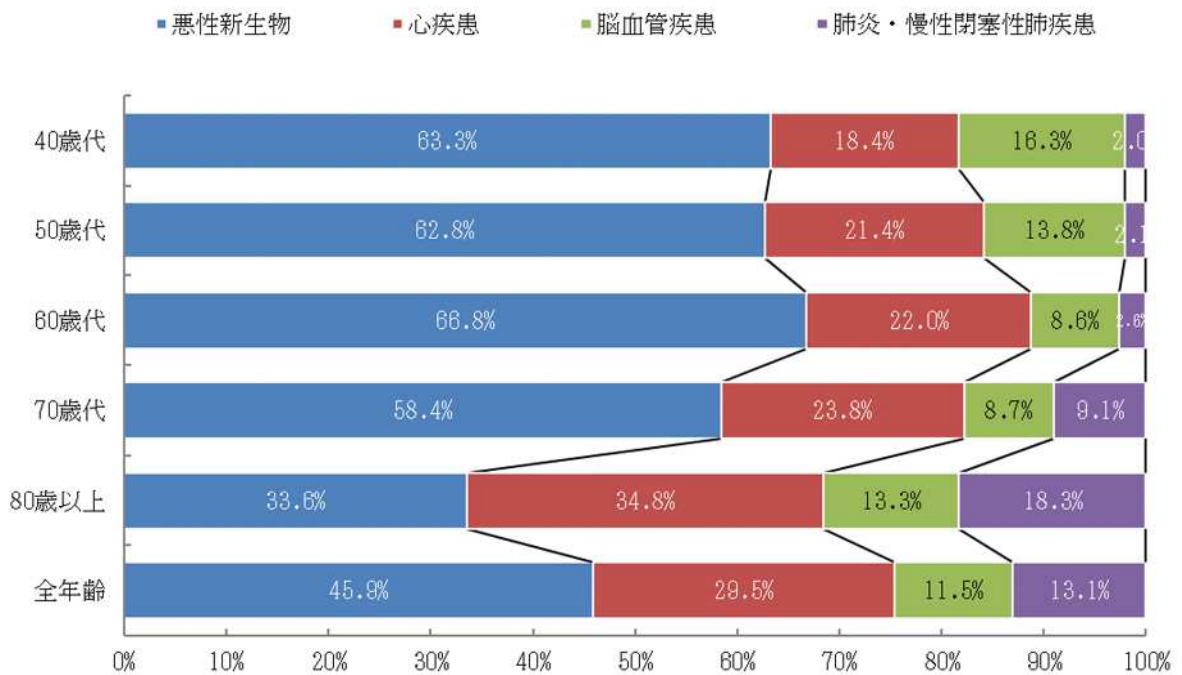


図 1 6 悪性新生物の部位別割合

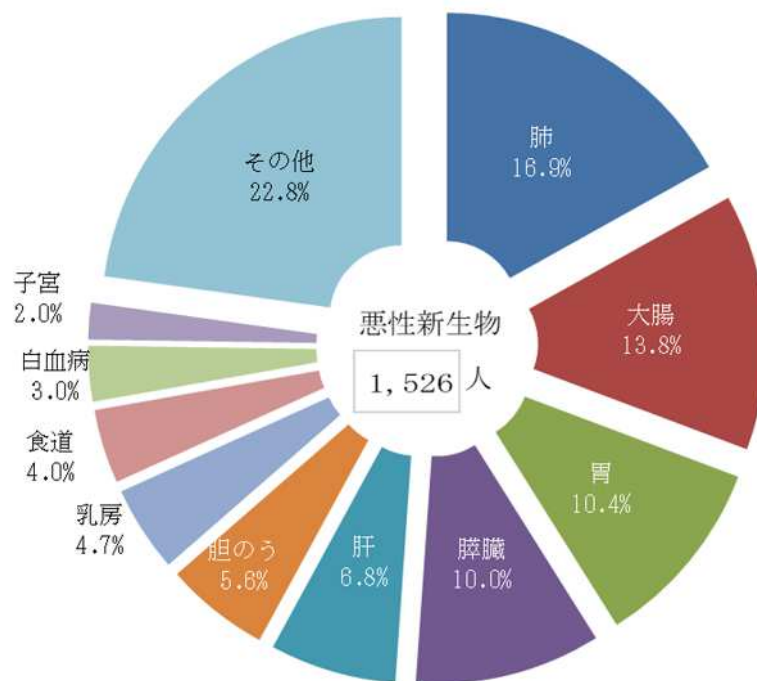
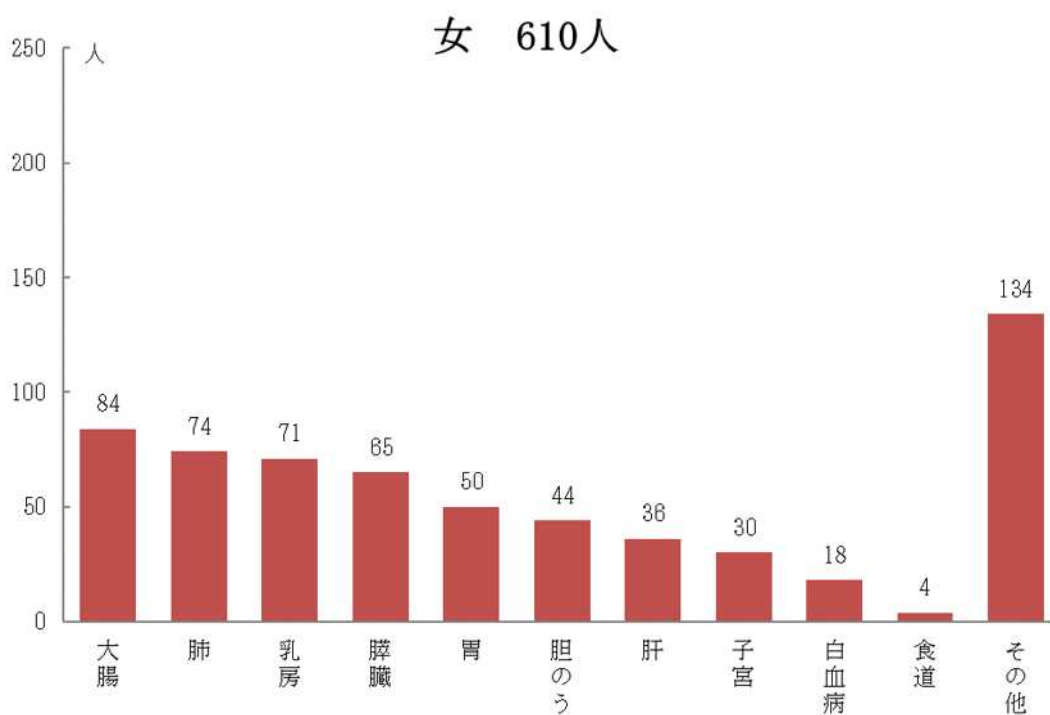
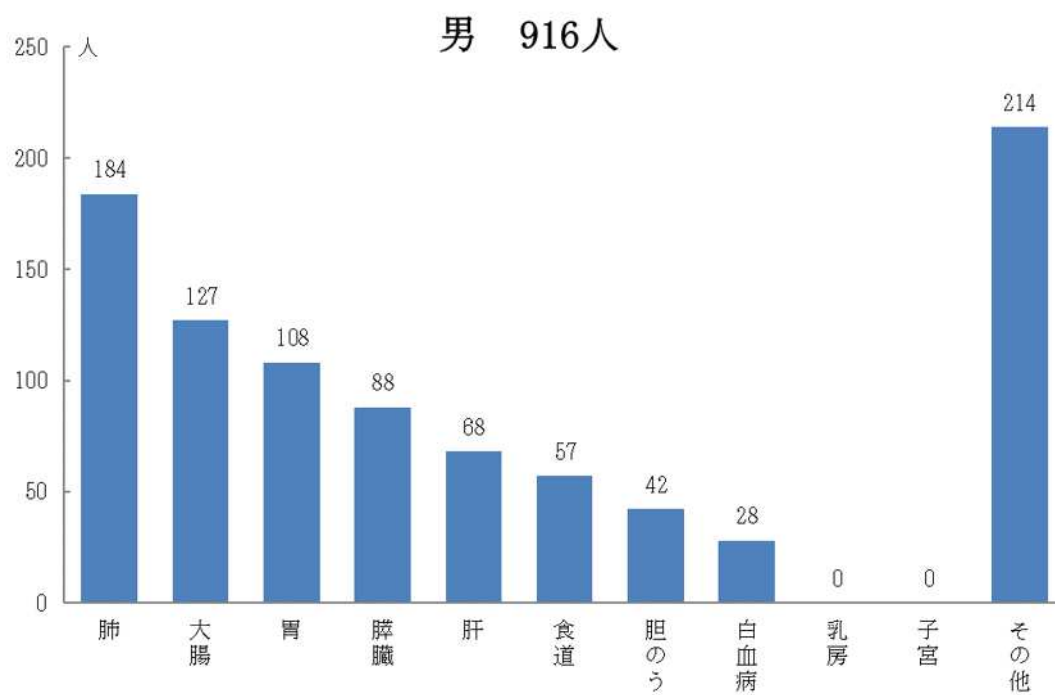
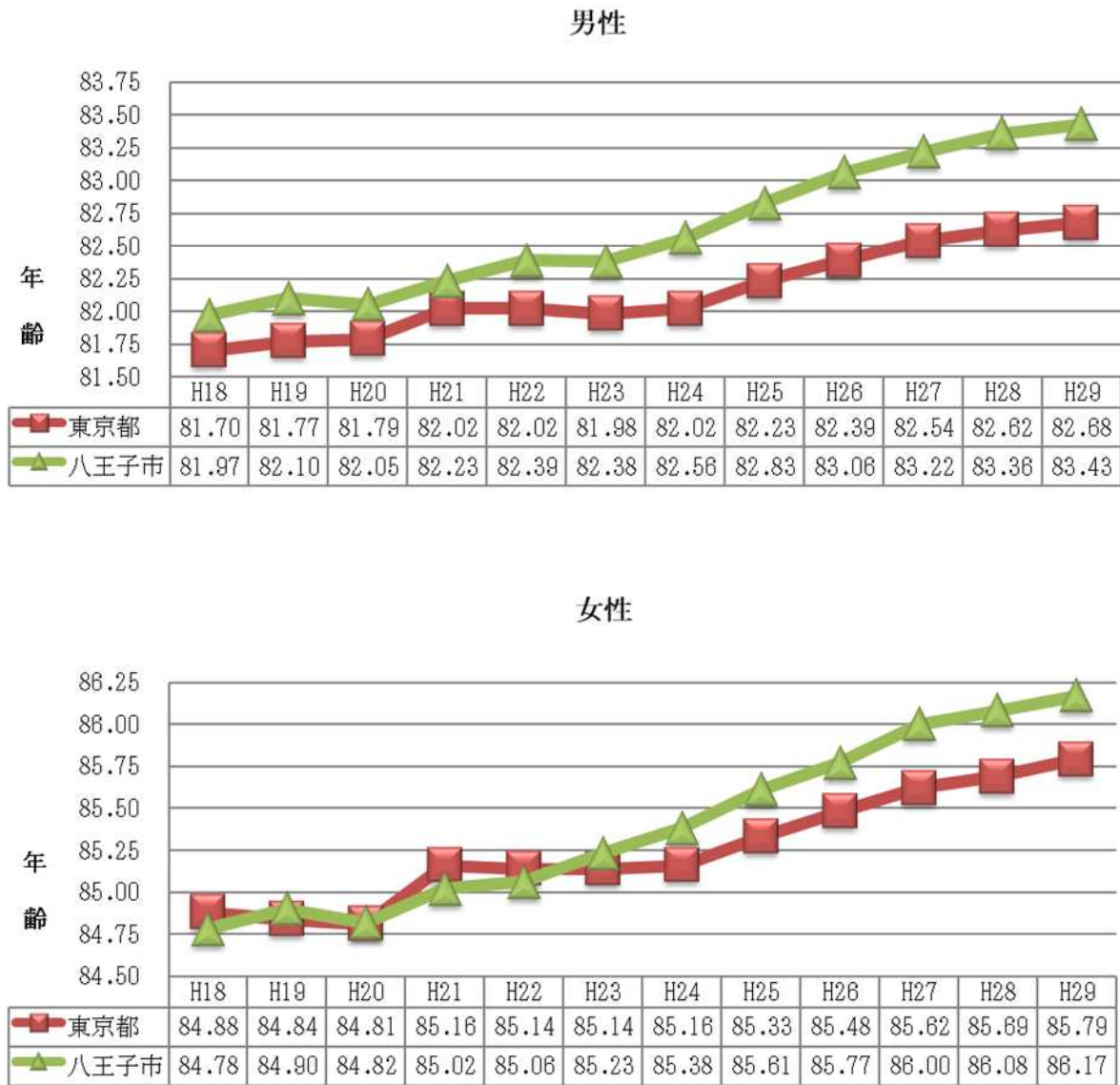


図 2 - 1 7 悪性新生物の部位別性別数



(4) 65歳健康寿命・65歳平均障害期間

図18 65歳健康寿命(要介護2以上)

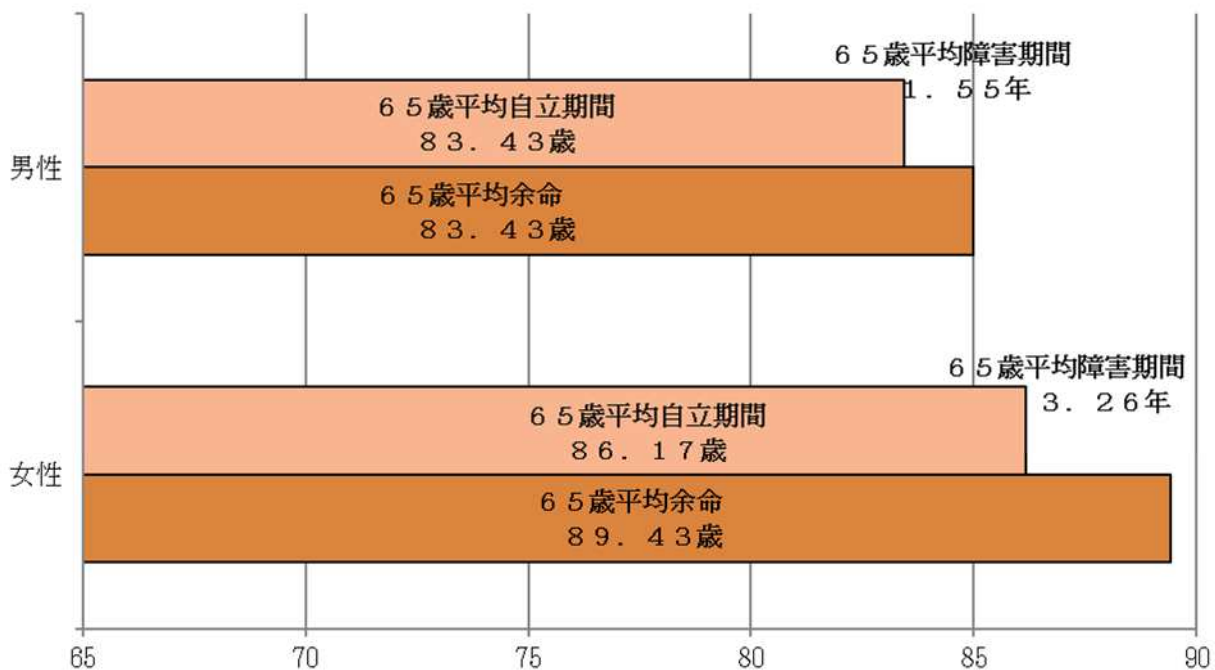


65歳健康寿命とは、65歳の人がある障害のために要支援・要介護認定を受けるまでの状態を健康と考え、その障害のために要介護認定を受けた年齢を平均的に表すものである。住民の健康状態の総合指標として、また高齢社会の大きな課題である介護予防に対して、事業を推進するために設置された指標である。

$$65\text{歳健康寿命(歳)} = 65\text{歳} + 65\text{歳平均自立期間(年)}$$

65歳平均自立期間：65歳時点において要介護認定を受けるまでの期間の平均、健康と考える期間の平均

図19 65歳平均障害期間（平成29年）



65歳平均障害期間とは、65歳時点において、病気や障害などにより要介護認定を受けてから、死亡するまでの期間の平均

$$65 \text{ 歳平均障害期間 (年)} = 65 \text{ 歳平均余命 (年)} - 65 \text{ 歳平均自立期間 (要介護 2 以上) (年)}$$